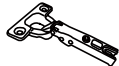
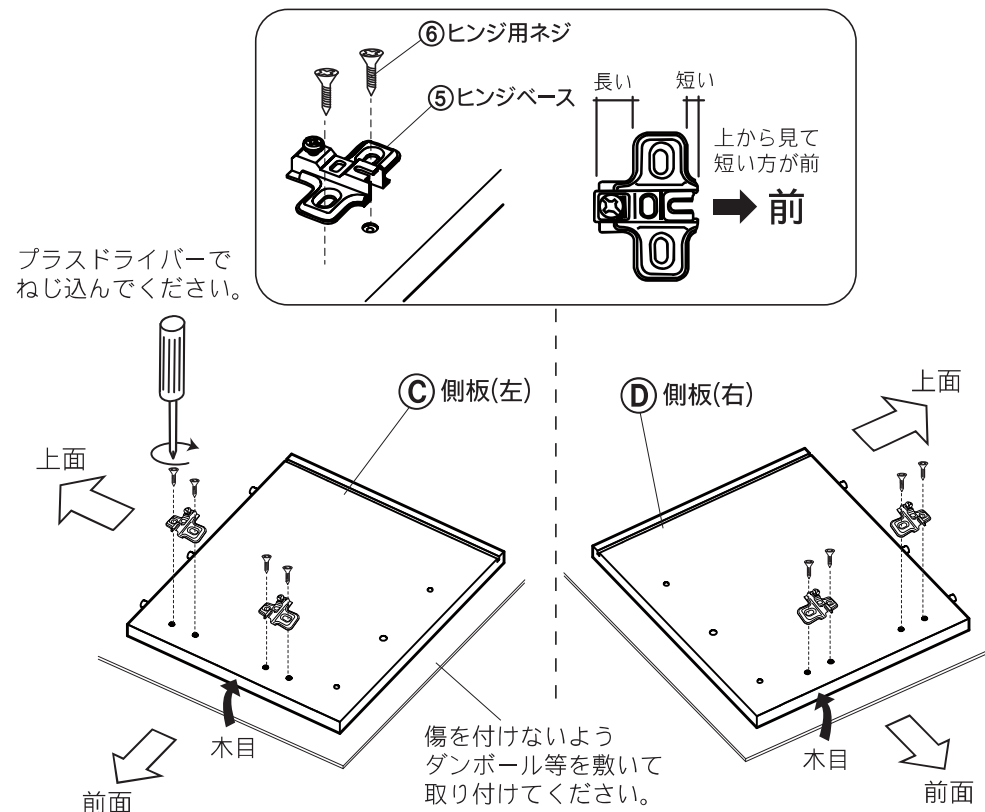


十分検査しておりますが、万一不良品又は部品不足などがございましたら、誠に恐縮ですが右記へご連絡ください。

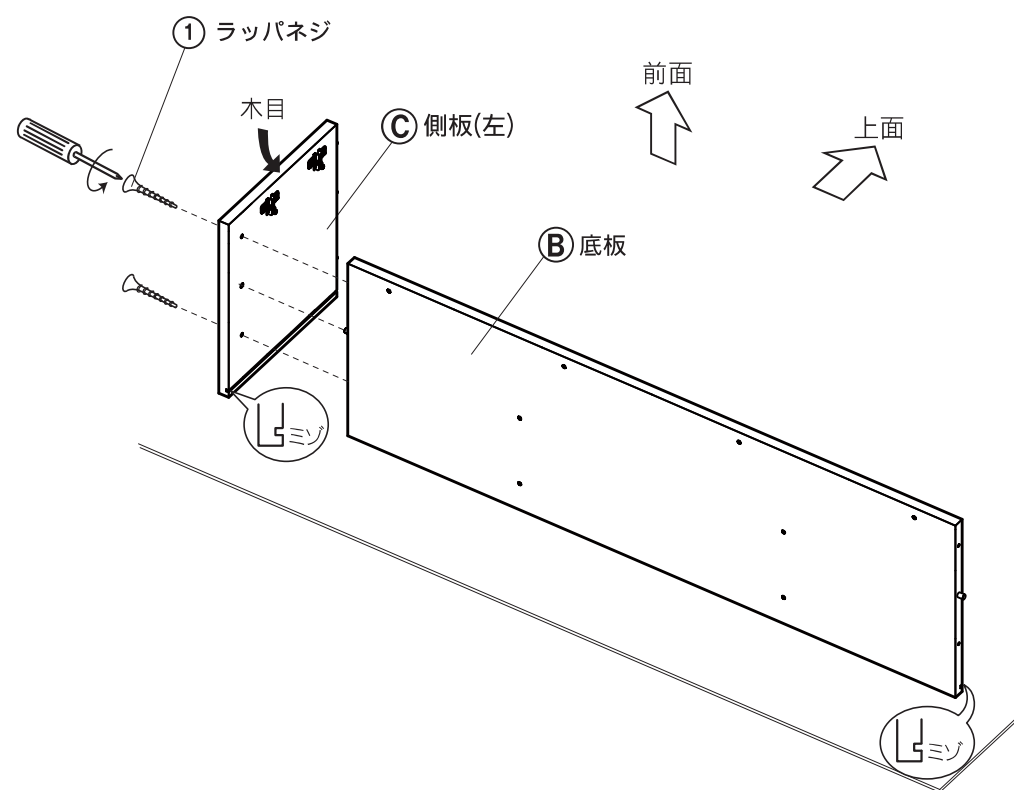
☐ ①	ラツパネジ		4
☐ ②	ベース用 ネジ		8
☐ ③	接着剤		1
☐ ④	スライドヒンジ		4
☐ ⑤	ヒンジ ベース		4
☐ ⑥	ヒンジ用 ネジ		16
☐ ⑦	棚ピン		4
☐ ⑧	裏板 ストッパー		6
☐ ⑨	裏板ストッパー用 ネジ		6
☐ ⑩	ノブ		2
☐ ⑪	ノブ用ネジ		2
☐ ⑫	クッション		2
☐ ⑬	ネジ隠し シール		4
☐ ⑭	転倒防止バンド		1
☐ ⑮	転倒防止 バンド用ネジ		2



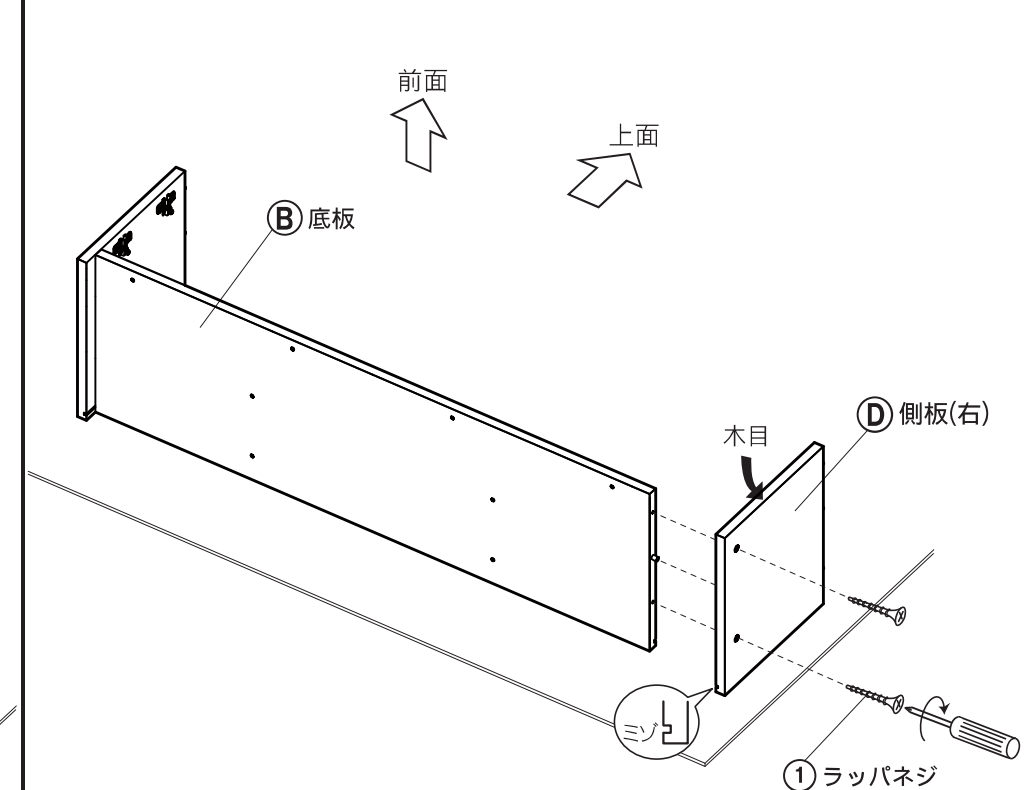
① ③④ 側板(左)(右)にヒンジベースの取り付け



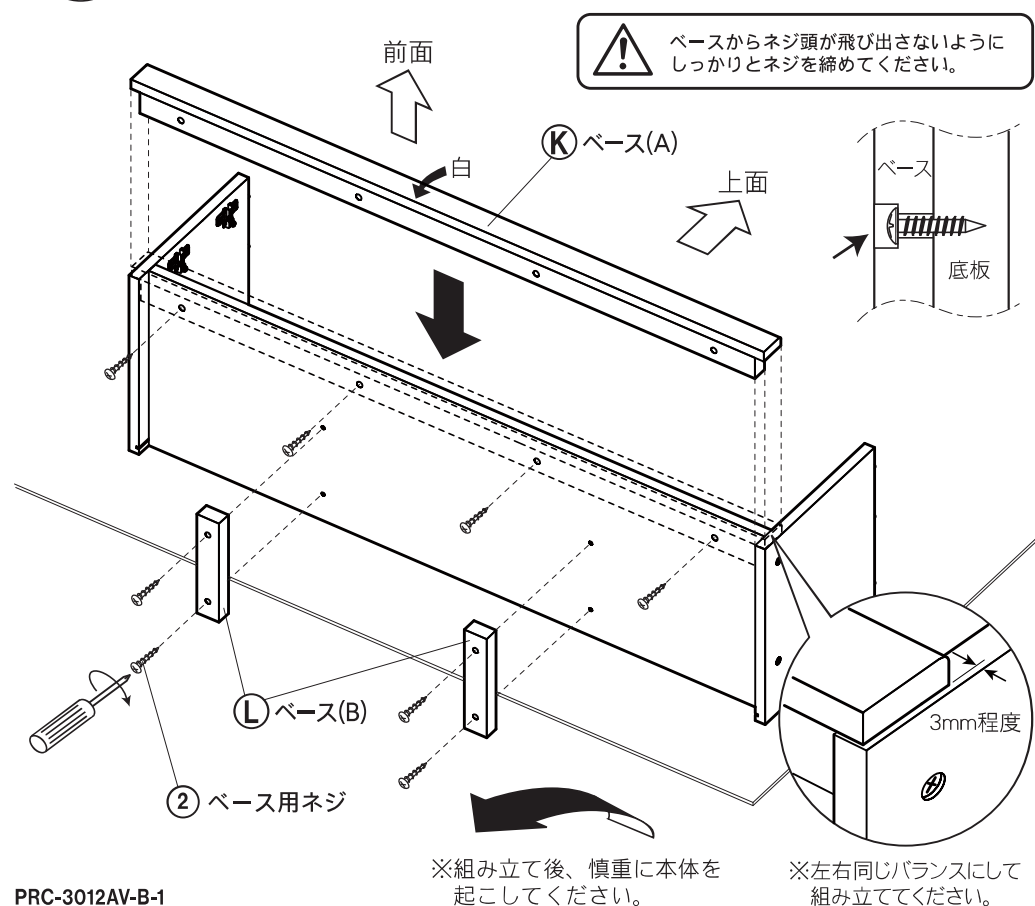
② ② 底板と ③ 側板(左)の組み立て



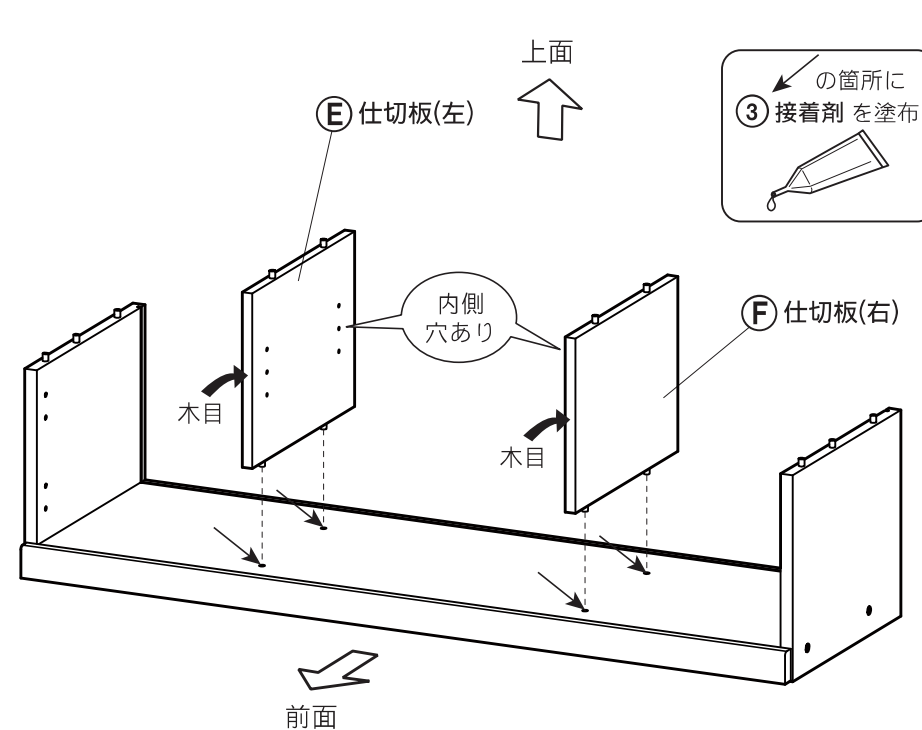
③ ② 底板と ④ 側板(右)の組み立て



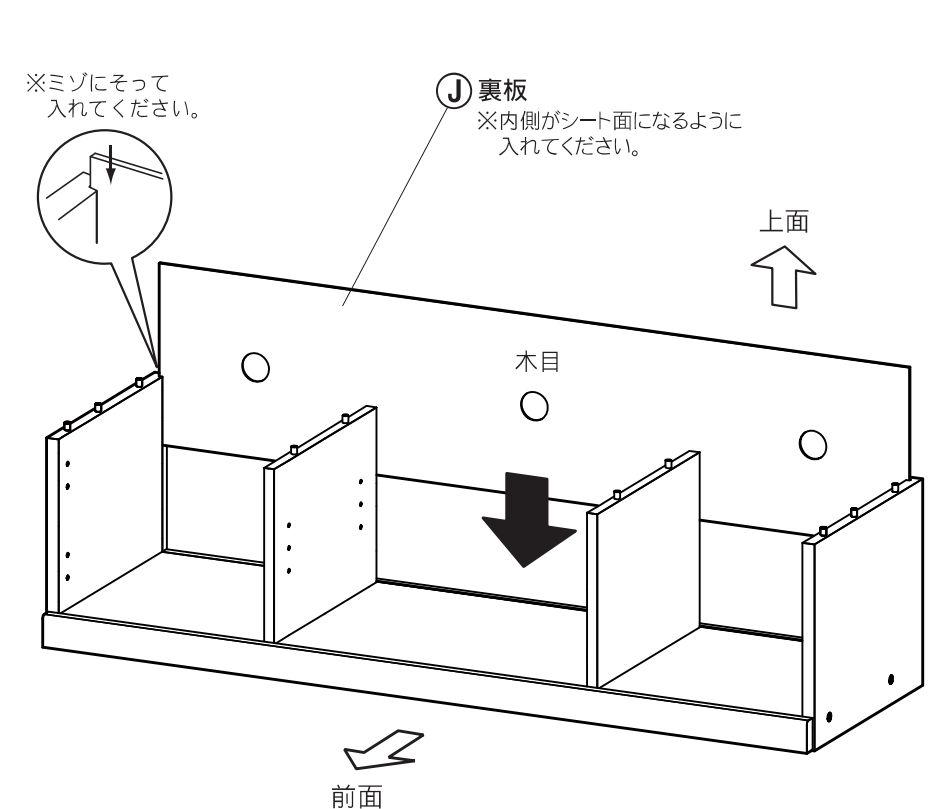
④ ⑤⑥ ベース(A)(B)の組み立て



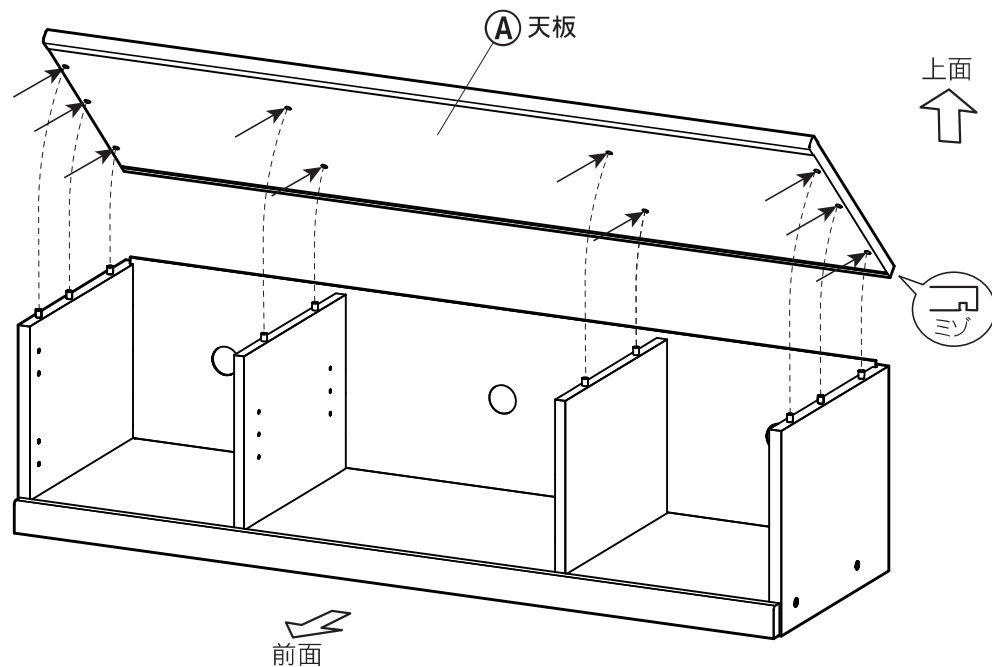
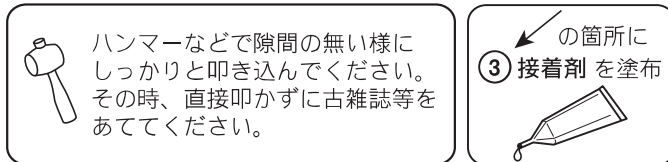
⑤ ⑦⑧ 仕切板(左)(右)の組み立て



⑥ ⑨ 裏板の組み立て

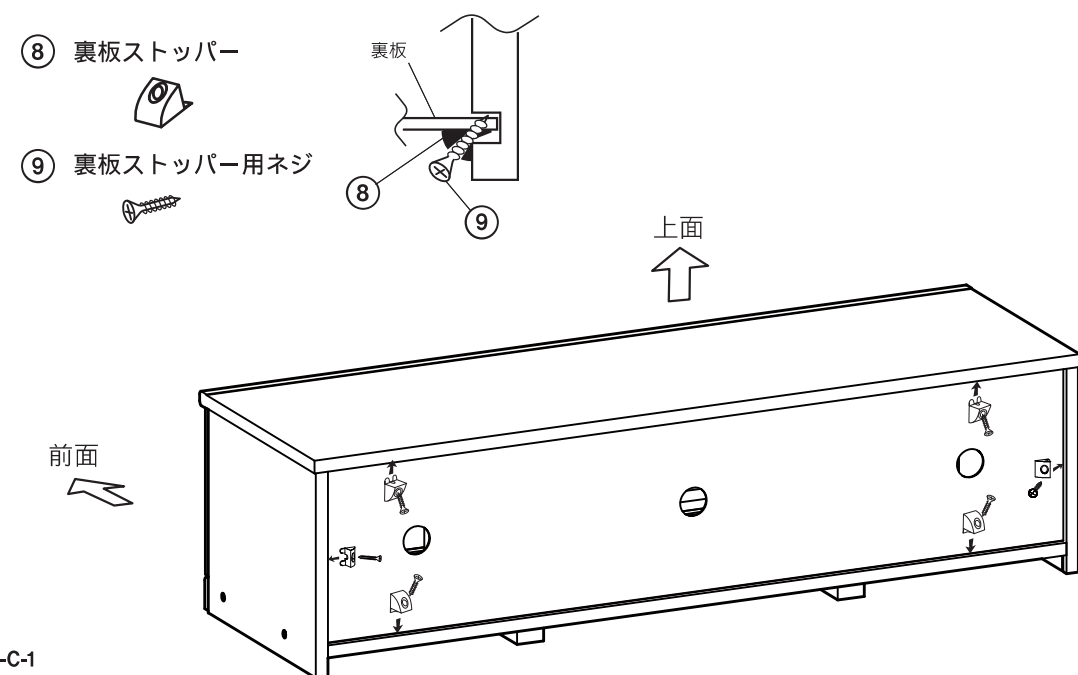


7 A 天板の組み立て

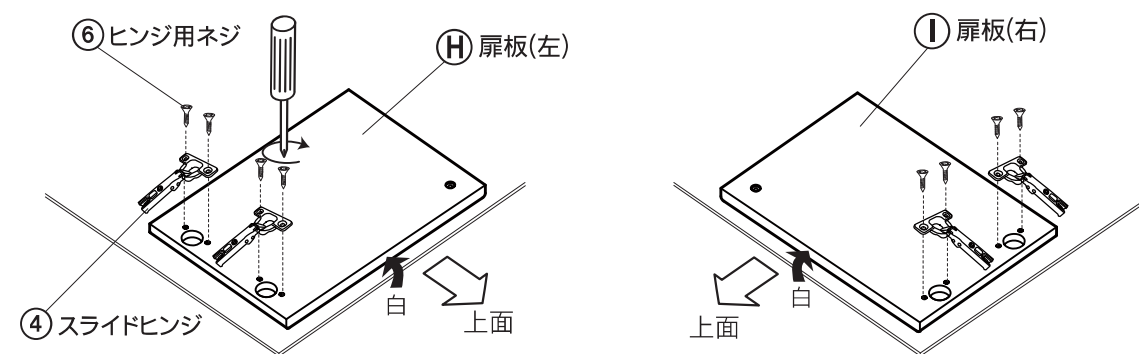


10 裏板ストッパーの取り付け

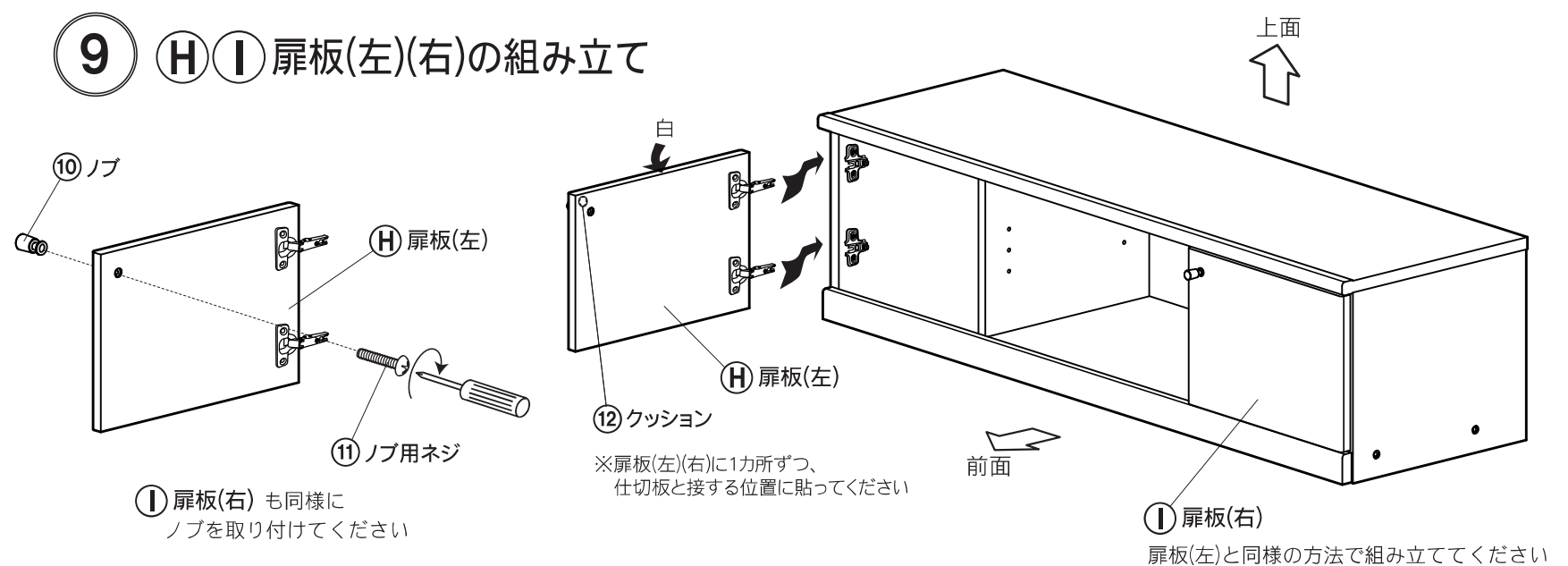
裏板と側板、天板、底板の隙間に裏板ストッパーを差込み、ねじで固定してください。その際、前面の扉板を整えながら取り付けてください。



8 H I 扉板(左)(右)にスライドヒンジの取り付け

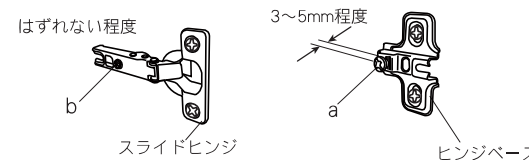


9 H I 扉板(左)(右)の組み立て

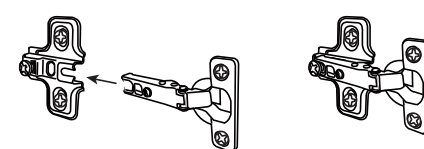


スライドヒンジの取り付け方

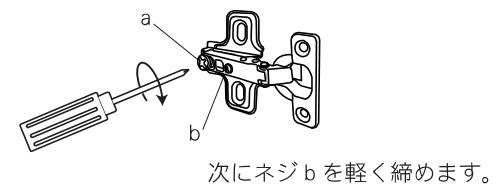
① あらかじめ2ヶ所(a、b)のネジをゆるめておきます。



② 切り欠きに通して奥にスライドさせます。



③ ネジaをしっかりと締め付けます。



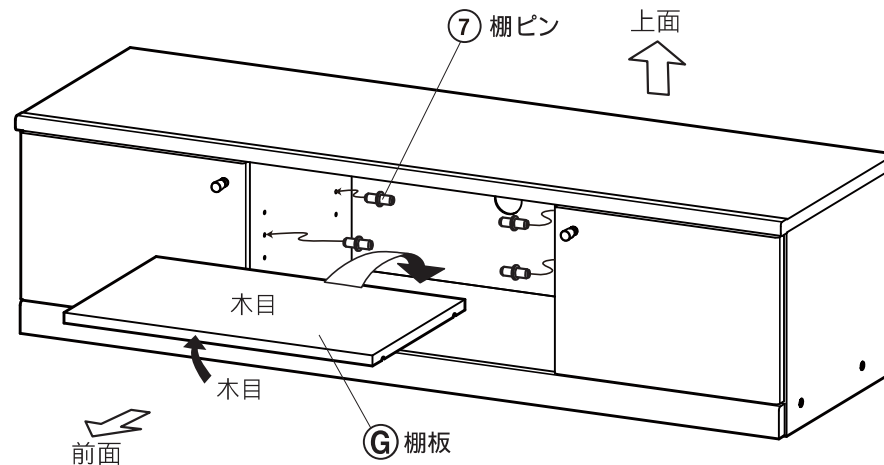
スライドヒンジ 3方向 調整方法

扉が下記の状態になった場合は・・・このネジで調整してください。

状態	調整ネジ
上下 にズレた。	側板 扉
前後 にズレた。	側板 扉
左右 にズレた。	側板 扉

11 棚板のセット

仕切板(左)(右)の穴に棚ピンを差し込んでください。
棚板の半円状の切り欠きを棚ピンに合わせてセットしてください。



12 できあがり！

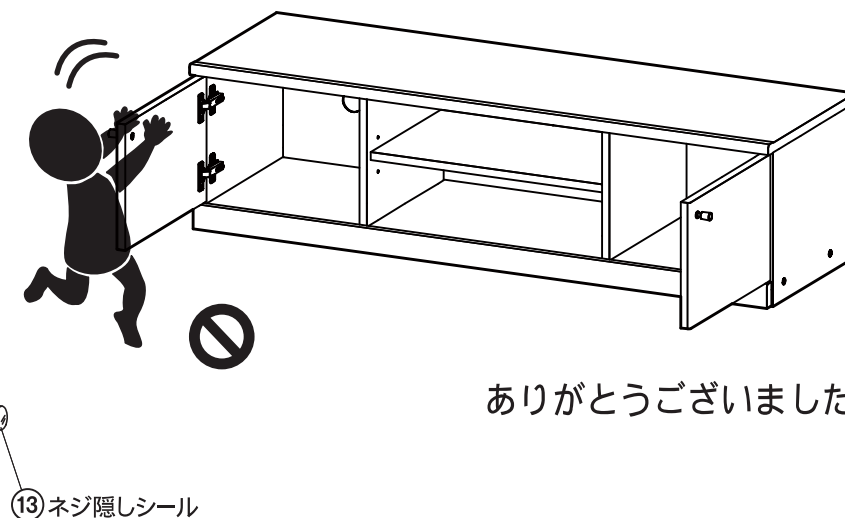
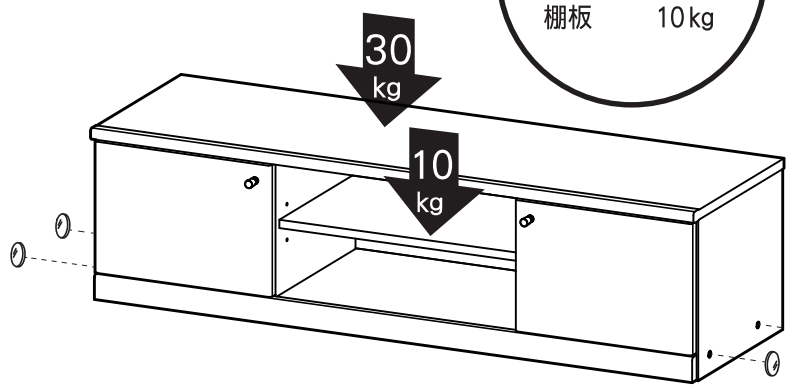
※移動の際は天板を持たないでください。
天板が外れてケガをする恐れがあります。

ご注意

扉板が開いた状態でもたれかからないでください。本体が倒れたり、扉板が外れるなど、破損やケガの原因となります。

耐荷重の目安

天板	30 kg
棚板	10 kg



ありがとうございました。

⑬ ネジ隠しシール

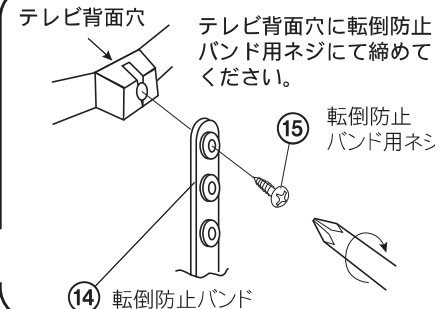
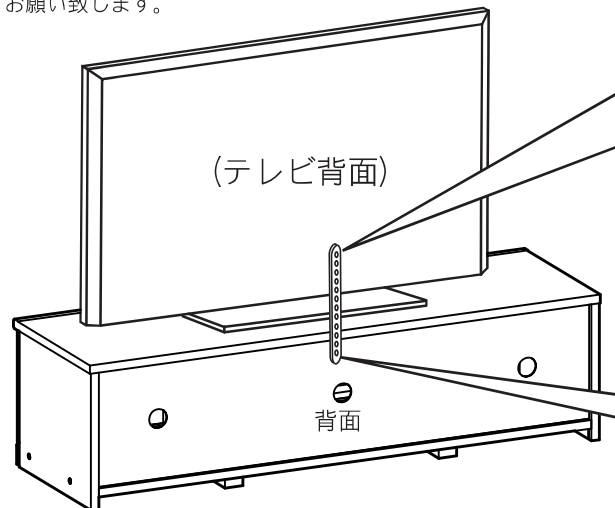
テレビ転倒防止(前面方向)についてお願い

テレビにお子様が登ったり、揺すったり、押したりされますとテレビが前面方向に倒れるおそれがあります。そのような際の事故防止と地震等、非常時の安全確保のために、転倒防止を下記にもとづき実施して頂きますようお願い致します。

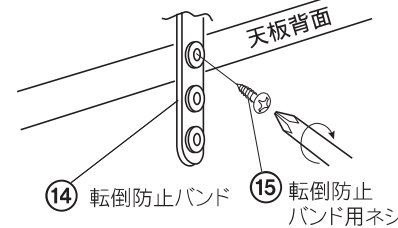
ご注意

※転倒防止バンドの取付方法はご使用のテレビの形状により異なります。テレビの説明書をご参考の上、適した方法でお取付けください。

テレビの形状によりお取付できないものもございます。そのような場合はテレビ本体の取扱い説明書にもとづき、何かしらの転倒防止措置を行なうことをお勧めします。



ローボード天板の厚みの中央に転倒防止バンド用ネジにて締めてください。



使用上のご注意

●安全にご使用頂くため、この「使用上のご注意」とその他の説明書がある場合はこれも併せてよく読み、正しくご使用ください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

家具の置き方

①地震などで家具が倒れ、ケガをする事があるので、建物の壁・天井等に固定部材でしっかり固定してください。また、家具の上に物を置くと落ちてケガをする事があるので、置き方にご注意ください。

②高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり（10cm位が望ましい）部屋の換気をしてください。

③直射日光や熱・冷暖房器の強風などが直接当たらない様にしてください。家具が歪んだりする原因となることがあります。

ご使用にあたって

④引き出しや引手の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり無理な力で引張ったりしないでください。家具が倒れてケガをする事があります。又、扉や引き出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。重心が前へ移り転倒する事があります。

⑤引き出しがついている場合、これをいっばいに引出すと 抜け落ちてケガをする事があります。

⑥キャスター（移動用小車）付きの場合は、その上に乗ったり押して遊んだりしないでください。倒れてケガをしたりする事があります。

⑦家具の上に立ったり、踏み台代わりに使ったりしないでください。本来の使用目的以外で使用されますと倒れてケガをする事があります。

⑧木材の接着剤に含まれるホルムアルデヒドが残っている場合があります。人によってはアレルギー症状を引き起こす事がありますので、使い始めに十分換気をして取り除くようにしてください。

⑨取り外しのできる棚は、棚受具を確実に取り付けてください。正しい位置に取り付けていないと、棚板がはずれて物が落ち、破損やケガをする事があります。

⑩家具を移動する時は、落としたり倒したりして物を壊したりケガをする事がない様に手でしっかり持って運んでください。

⑪フタを開閉する家具は、手、足等をはさまないようにご注意ください。

保守・点検

⑫チョウバンや脚取り付け金物などの固定ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使っていると家具がこわれて、ケガをする事があります。また、移動をした時も点検し、ゆるんでいたら締め直してください。

⑬虫等を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入った事も考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。



一般社団法人 日本家具産業振興会